

菅野 博貢

明治大学 准教授

高齢者を中心とした「勝手花壇」作りの実態とその街並み景観コントロールに関する研究

近年のガーデニングブームの中で、個人の庭など十分なスペースをもたない人々を中心に、公共空間を不法に占拠して行われる園芸活動 勝手花壇が広がりを見せている。

本研究ではこのような活動の広がりを東京 23 区全体において把握するとともに、勝手花壇を行う人々の意識や動向をアンケート調査によって明らかにしようとした。

その結果、23 区は「都心多発地帯」、「都心制限地帯」、「都心周辺多発地帯」に分類できる事が明らかになった。また、このような活動を行う人には高齢者が少なくなく、老化防止、ボケ防止などの意識が勝手花壇の背景にある事が明らかになった。